

## 魚津市新庁舎整備検討委員会 第1回会議 会議録（要旨）

### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和4年10月20日（木）14：00～16：00
- 2 開催場所 魚津市役所4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員、野澤委員、鍼田委員、平田委員、松岡委員、山本委員、米澤委員  
(欠席) 中才委員
  - (2) 市  
市長、副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員

### 【関連資料】

- 資料No.1 新庁舎整備に係る検討体制・スケジュール
- 資料No.2 現庁舎の概要・整備事業費の想定等
- 資料No.3 県内外の視察状況報告
- 資料No.4 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討
- 資料No.5 整備場所の選定方針

### 【会議内容】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付・委員紹介
- 3 市長あいさつ

(要旨) 委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

旧庁舎は大町地区の新宿に下新川郡議会の議事堂として建設され、昭和2年に魚津町が県からその建物を借りるという形で庁舎として利用しました。その後、昭和27年に町村合併で魚津市が誕生しました時に、その建物を引き続き庁舎として利用したという歴史があります。

現庁舎は昭和41年8月からの2か年の事業で建設されました。当時の建設費は約2億2,500万円で、当時の予算規模の1/4を充てる事業であったわけですが、現在庁舎を建てる時も予算規模に対して同じような割合、あるいはそれ以上の事業費が必要になります。そういった意味では、魚津市にとって、まさに世紀の大事業ということになるわけです。

それほどの大プロジェクトということで、委員の皆様には、基本的な考え方ですとか、求められる機能、市民にとってどういう庁舎であるべきかなどをテーマに、忌憚のないご意見をいただきながら、考えていきたいという強い思いを持っております。

よろしく願いいたします。

#### 4 会長選任

清水委員が会長に選任、会長あいさつ

(要旨)

事務局としっかり協力し合って、会議進行及びとりまとめを精一杯させていただこうと思っております。よろしくお願い申し上げます。

設置要綱にありますように、新庁舎整備に関して協議を行い、市長に対して我々の意見をしっかりお伝えするため、委員皆様一人ひとりからご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 5 議題

(1) スケジュール、現庁舎の概要等について

①新庁舎整備に係る検討体制・スケジュールについて

②現庁舎の概要・整備事業費の想定等について

③県内外の視察状況報告について

(2) 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について

(3) 整備場所の選定方針について

#### 6 次回の会議日程

#### 7 閉会

【以下、質疑、意見等】

**委員** 庁舎の中で働く職員数によって規模が決まると思っていた。各市の正職員数と延床面積にバラツキがあるようだが、魚津市の正職員数を考えた場合に 10,000 m<sup>2</sup>という想定は妥当なものであるか、考えをお聞かせいただきたい。

**事務局** 正規職員の全体数を記載しているので、単純比較できるものに現時点ではなっていない。今後庁舎の規模を検討していく際に、職員数を精査して規模を検討していく。

**委員** 事業費の 70 億円は無謀ではないか。将来世代の負担になってほしくないという思いが強い。市外に流出する世帯が多い中で将来負担を増やすのは得策ではないのではないか。例えば新庁舎の上にマンションを建てるなど、テナントで収入を得る方法はないか。東京では働き方が変わってきており、テレワークを推奨する分事務所を小さくする例も出てきている。フリーアドレス化、ペーパーレス化も進んでいる。10 年後働き方がどう変わっているかわからない中で、例えば半分テレワークを前提とした施設づくり、廃校施設の活用、ワーケーションといった考え方もあると思うので、もっと施設の規模を縮小すべきではないか。人口減少は止められないので、10 年後を見越してサイズダウンした施設を建てるべきではないか。

**市長** 働き方の変化、執務環境、災害時対応、将来負担などトータルで考えるべきであり、これまでの庁舎整備の考え方にとられる必要はないと考えている。財政シミュレーションは次回お示しするが、必ずしもそこにはこだわらず、自由にご発言いただきたい。

**委員** 出費をどこで抑えるか検討すべき。例えば負担の大きい施設を県に渡すなどできないか。新庁舎整備は計画的に進めればよいと思うが、市全体の運営を考えて大きな視点で進めてもらいたい。人口減少社会なのでコンパクトにしていくという話は重要だと思う。

**市長** 庁舎に限らず、全体的な行政運営や施設のあり方はしっかり検討していきたい。財政視点の問題は次回色々な資料を示しながら議論できるようにしたい。

**委員** 今回の事業計画は魚津市がよい意味で変化することができる、半世紀に一度の絶好のチャンスと受け止めている。外向けに主張していくことと、市民に対するサービスのあり方に対することの大きく2点に分かれると思うが、時代を考慮しゼロベースで機能、職員数、スペースの検討をお願いしたい。一方で市庁舎は規模の大小は別にして大きなシンボルといえる。個性的なものや近代建築である必要も場合によってはないかもしれないが、シンボルとしてより愛される意匠・デザインを明確に検討いただきたい。

**委員** 新しい働き方を踏まえたコンパクトな庁舎にしていきたい。例えば、立派な建物を建てたが市町村合併などで使用しなくなるのは無駄である。コンパクトなものにして中身を充実していただきたい。若者がキーワードと思っている。魚津市は子どもが大きくなって遊ぶところがない。魚津市がつまらないところと思いながら暮らして、市から出て行って帰ってこないということがあると思っている。例えば新庁舎の中にデジタルラボを設置して子どもたちの遊び場になってくれたらいいと思う。小学校高学年になると子どもたちはデジタルを求めているし、取り入れていく必要があると思う。デジタル面も考えてほしい。

**委員** 5階、6階の建物を建てることで、ホテルの景観を損なうことのないようにしてほしい。基本理念・基本方針の考え方は他市それぞれよく似た状況なので、行政がよく意見を聞いて進めればよいと思う。基本構想には外部コンサル等専門家の意見を十分に織り交ぜた方が、最終的にはいいものができると思う。費用はかかるが。

**委員** 新庁舎のあり方としては従来の考え方で施設規模を想定すべきでない。働き方が大きく変わるこの先10年を見定めて計画を立てるべき。市民サービスが変わっていくのも含めてIT化・デジタル化を検討してほしい。

**委員** 近隣のホテルを災害時の避難所として使用する、市役所前公園を結婚式挙式で使用するなど、民間と連携してWin-Winの関係を持てたらよいと思う。市民に開かれた庁舎であればよいと思う。

**委員** 市民にとって親しみやすい市役所が一番だと思う。市役所はシンボルであり市民を中心とした施設になってもらいたい。現在の庁舎は防災に関しては弱い。防災拠点となり、市民が少しでも安心できる庁舎にしてほしい。

委員 市民に親しまれる庁舎にしなければならないことは当然と思う。財政問題は次の委員会で具体的に示していただきたい。場所の問題だが、概ね市有地で建てたいという案のように思うが、民間事業所の跡地や総合体育館の跡地を検討した上でのことなのか、そういったことも今後お聞かせいただけるとありがたい。

委員 新庁舎整備が半世紀に一度のチャンスというのはそのとおりだと思う。他の市の真似ではチャンスは活かさない。他市の事例をたたき台として、削ったり新しいものを加えたりしてより素晴らしいものを検討いただきたい。未来あるもの、防災、最先端技術など、検討事項はたくさんあると思うが、優先順位をつけて議論していくことがこれから必要と感じる。

委員 場所や基本理念は行政が自分たちよりもよくわかっていると思うので、現時点ではそれに対する特段の意見はない。市職員と仕事面で関わることも多いが、いわゆるお役所仕事と感じることがある。働いている人もレベルアップすることが大事。財政負担が問題と思ったが、次回内容を見ながら意見させていただきたい。

委員 今日市役所に来た時に思ったことは、まず市役所に入ったときの圧迫感。よく見ると、どうやら紙が多い。これでは災害時に情報が失われるのではないか。業務効率化のためにもできる限りデータ化すればよいと思う。DX化の観点からも、コンパクトな庁舎を作るうえでものをもたない、そうした庁舎ができればよい。空間を調整できる機能があると今後よりよいものになると思う。例えば非常事態災害時に一定の場所を区切ってフェーズフリーにすれば、緊急の場所として空間を生み出すことができる。市役所に来ることはあまりないが、来る前にある程度申請書の記入を済ませられるなど、そういったことができれば、窓口での説明で苦勞している方の負担も減るのではないか。

委員 理念や方針の検討は今後の会議でも出てくると思うが、SDGsの観点から、50年100年で使用不可能になるような建物を建てないでほしい。そのためにはシンプルでメンテナンスがしやすい建物が必要。また、省エネと空調も大事な要素と思っている。市役所前公園は熟成されており、良い公園なので取り壊さないでほしい。

委員 市庁舎はコミュニティセンターの総本山と思っている。次世代を担う子どもたちが地域社会の宝であることは共通認識と思う。魚津市の将来を考え、将来を担う人材育成につながる機能を新庁舎にも持たせてもらいたい。人口減少で税収減や高齢者の増加が進み、医療制度、年金制度がどうなるかわからない中で市行政がますます重視される時に、夢を持つために子供たちに期待し人への投資をぜひ行っていただきたい。

**事務局** 委員の皆さんからいただいた意見をもとに事務局案を作り基本理念を提示させていただきたい。整備場所については、公園の話なども出たが、事業費の関係もある。財政の問題も色々ご意見をいただいたので、そういったことも踏まえ、まずは市有地という形で候補地を検討し、メリット・デメリットを第2回会議でお示しできるようにしたい。

**市長** 基本理念にこだわったのはどういう夢を描いていくかが大事だと思っているためである。これから10年20年先を見据えてイメージを作っていくにあたり、意見をいただけて良かったと思う。補足であるが、次回検討するための基礎的な材料はお示ししたい。例えば職員数や用地の課題は事前にお示ししたほうが、議論がスムーズになると思うので、できるだけそうしていきたい。

以上